

# 産科婦人科学講座

「著書」

「学術論文」

- 1) Ozaki T, Takahashi K, Kanasaki H, Iida K, Miyazaki K: Expression of type I interferon receptor and interferon-induced Mx protein in human endometrium during the menstrual cycle. *Fertility and Sterility* 83: 163-170, 2005
- 2) Aida T, Takebayashi Y, Shimizu T, Okamura C, Higasimoto M, Kanazaki A, Nakayama K, Terada K, Sugiyama T, Miyazaki K, Ito K, Takenoshita S, Yaegashi N: Expression of copper-transporting P-type adenosine triphosphatase (ATP7B) as a prognostic factor in human endometrial carcinoma. *Gynecologic Oncology* 97: 41-45, 2005
- 3) Pask AJ, Kanasaki H, Kaiser UB, Conn PM, Janovick JA, Stockton DW, Hess DL, Justice MJ, Behringer RR: A novel mouse model of hypogonadotropic hypogonadism: N-ethyl-N-nitrosourea-induced gonadotropin-releasing hormone receptor gene mutation. *Molecular Endocrinology* 19:972-981, 2005
- 4) Takahashi K, Ozaki T, Kanasaki H, Miyazaki K: Influence of ovarian cystectomy on the ovulatory function of the residual ovary. *European journal of Obstetrics and Gynecology Reproductive Biology* 121: 191-194, 2005
- 5) Kanasaki H, Bedecarrats GY, Kam KY, Xu S, Kaiser UB: GnRH pulse frequency-dependent activation of ERK pathways in perfused L $\beta$  T2 cells. *Endocrinology* 146:5503-5513, 2005
- 6) Shih IM, Sheu JJC, Santillan A, Nakayama K, Yen MJ, Bristow RE, Vang R, Parmigiani G, Kurman RJ, Trope CG, Davidson B, Wang TL: Amplification of a chromatin remodeling gene, Rsf-1/HBXAP, in ovarian carcinoma. *PNAS* 102: 14004-14009, 2005
- 7) Kurioka H, Takahashi K, Miyazaki K: Maternal Thyroid Function during Pregnancy and Puerperal Period. *Endocrine Journal* 52: 587-591, 2005
- 8) 真鍋敦, 宮崎康二. 産褥期精神障害. *産科と婦人科* 72: 1637-1645, 2005
- 9) Kanasaki H, Bedecarrats GY, Kam KY, Xu S, Kaiser UB: Gonadotropin-releasing hormone pulse frequency-dependent activation of extracellular signal-regulated kinase pathways in perfused L $\beta$  T2 cells. *Endocrinology* 146: 5503-5513, 2005
- 10) 金崎春彦, 上田敏子, 宮崎康二: 重症卵巣過剰刺激症候群に対する胸・腹水濾過濃縮再静注法. *臨床婦人科産科* 59: 50-55, 2005
- 11) 石橋雅子, 高橋健太郎, 金崎春彦, 宮崎康二: 不妊治療中に発見された乳癌の1症例—早期発見におけるマンモグラフィーの有用性—. *産科と婦人科* 6: 805, 2005
- 12) Hiroko Kurioka, Kentaro Takahashi, and Kohji Miyazaki: Maternal Thyroid Function during Pregnancy and Puerperal Period. *Endocrine Journal* 52: 587-591, 2005
- 13) 真鍋敦, 宮崎康二: わが教室における婦人科疾患の画像診断. *産婦人科治療* 92: 85-91, 2006
- 14) Yamamoto N, Yoshizako T, Uchida N, Kitagaki H, Horie A, Kumori K, Miyazaki K: Mesoblastic Nephroma: A Case Report of Prenatal Detection by MR Imaging. *Magnetic Resonance in Medical Sciences* 5: 47-50, 2006

- 15) 宮崎康二：プライマリケア医のためのデプレッション診療．島根医学 26：1-7, 2006
- 16) Sandra Mutiara, Haruhiko Kanasaki, Takashi Harada, Kohji Miyazaki: Dopamine D<sub>2</sub> receptor expression and regulation of gonadotropin  $\alpha$ -subunit gene in clonal gonadotroph L $\beta$ T2 cells. Molecular and Cellular Endocrinology 259: 22-29, 2006
- 17) 宮崎康二：助産師，看護師，保健師さんのための「うつ病」学．島根母性衛生学会雑誌 10：67-70, 2006
- 18) 折出亜希，金崎春彦，山上育子，真鍋 敦，宮崎康二：常位胎盤早期剥離後に Sheehan 症候群を発症した 1 例．産婦人科の実際 55：2121-2126, 2006
- 19) 金崎春彦，宮崎康二，Ursula B Kaiser：パルス状 GnRH 刺激によるゴナドトロピン発現調節．臨床分子内分泌学 4 141-148, 2006
- 20) 金崎春彦，宮崎康二：女性診療科外来「機能性子宮出血」．臨床婦人科産科 6：477-481, 2006

「学会発表」

- 1) 久守孝司，立花光夫，永末直文，石橋雅子，山田曜子，前出喜信，真鍋 敦，宮崎康二：母体搬送された重複腎盂尿管の治療経験．第 43 回山陰小児外科内科・周産期研究会．松江，2005 年 1 月
- 2) 真鍋 敦，永石美和，山田曜子，前出喜信，宮崎康二：原因不明不育症に対するプレドニゾロン・アスピリン療法とヘパリン・アスピリン療法の有効性と安全性の比較．第 57 回日本産科婦人科学会学術講演会．京都，2005 年 4 月
- 3) 折出亜希，真鍋 敦，石橋雅子，永石美和，山田曜子，前出喜信，宮崎康二：ヘパリン・アスピリン療法が有効であった原因不明不育症の 1 症例．第 57 回日本産科婦人科学会学術講演会．京都，2005 年 4 月
- 4) 山田曜子，金崎春彦，宮崎康二，山本秀幸：LhT2 細胞における LH と FSH の遺伝子発現への C キナーゼの関与．第 57 回日本産科婦人科学会学術講演会．京都，2005 年 4 月
- 5) 石橋雅子，金崎春彦，佐藤敦子，宮崎康二：鑑別診断が極めて困難であった骨盤内腫瘍．第 57 回日本産科婦人科学会学術講演会．京都，2005 年 4 月
- 6) 金崎春彦，宮崎康二，Kaiser Ursula  $\beta$ ：下垂体 gonadotropin 産生細胞におけるパルス状 GnRH 刺激による ERK 活性化反応について．第 57 回日本産科婦人科学会学術講演会．京都，2005 年 4 月
- 7) Yamada Y, Yamamoto H, Kanasaki H, Miyazaki K: Regulation of FSH $\beta$  gene expression in L $\beta$ T2 cells. 38<sup>th</sup> Annual Meeting of the Society for the Study of Reproduction. Quebec, Canada, July 24-27, 2005
- 8) 原田 崇，金崎春彦，サンドラ・ムティアラ，宮崎康二：下垂体 L $\beta$ T2 細胞における PACAP 刺激によるゴナドトロピンプロモーター活性化に関する検討．第 78 回日本内分泌学会学術総会．東京，2005 年 7 月
- 9) サンドラ・ムティアラ，金崎春彦，原田 崇，宮崎康二：下垂体ゴナドトロピン産生細胞におけるドーパミン D<sub>2</sub> 受容体のゴナドトロピンサブユニット発現調節に関する検討．第 78 回日本内分泌学会学術総会．東京，2005 年 7 月
- 10) 金崎春彦，宮崎康二，Kaiser Ursula  $\beta$ ：Idiopathic Hypogonadotropic

- Hypogonadism (IHH) 患者における変異 GnRH 受容体の解析. 第 78 回日本内分泌学会学術総会. 東京, 2005 年 7 月
- 11) 前出喜信, 他: ABO 血液型不適合に G6PD 異常症を伴った早期黄疸の 1 例. 第 41 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 福岡, 2005 年 7 月
  - 12) 坪倉かおり, 他: 胎児動脈管早期閉鎖が疑われた 3 症例. 第 41 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 福岡, 2005 年 7 月
  - 13) 真鍋 敦, 折出亜希, 永石美和, 山田曜子, 前出喜信, 宮崎康二: 分娩後に発症した急性散在性脳脊髄炎の 1 例. 第 41 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 福岡, 2005 年 7 月
  - 14) 折出亜希, 角田育子, 永石美和, 山田曜子, 前出喜信, 真鍋 敦, 宮崎康二: 帝王切開術後の大量出血に子宮動脈塞栓術が有効であった前置胎盤の 1 例. 第 41 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 福岡, 2005 年 7 月
  - 15) 角田育子, 折出亜希, 永石美和, 山田曜子, 前出喜信, 真鍋 敦, 宮崎康二: 常位胎盤早期剥離後に Sheehan 症候群を発症した一例. 第 41 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会. 福岡, 2005 年 7 月
  - 16) 宮崎康二: 産婦人科外来でのデプレッション診療—疼痛治療を中心に—. 日本産科婦人科学会神奈川地方部会. 2005 年 7 月
  - 17) 金崎春彦, 宮崎康二, Ursula B Kaiser: 変異 GnRH 受容体の解析. 第 13 回 GnRH 研究会. 高松, 2005 年 8 月
  - 18) 原田 崇, 真鍋 敦, 山田曜子, 宮崎康二: 癒着胎盤が疑われた前置胎盤の 1 例. 日本超音波医学会第 41 回中国地方会, 第 4 回中国地方会講習会. 倉敷, 2005 年 9 月
  - 19) 真鍋 敦, 山田曜子, 原田 崇, 宮崎康二: 術前診断が可能であった GIST の 1 例. 日本超音波医学会第 41 回中国地方会, 第 4 回中国地方会講習会. 倉敷, 2005 年 9 月
  - 20) 片桐 浩, 折出亜希, 紀 美和, 前出喜信, 山田曜子, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二: 胎胞膨隆で母体搬送された 2 症例について. 平成 17 年度西部地区日本産科婦人科学会島根地方部会学術集会. 浜田, 2005 年 9 月
  - 21) 金崎春彦: 不妊症治療における最近の話題. 平成 17 年度西部地区日本産科婦人科学会島根地方部会学術集会. 浜田, 2005 年 9 月
  - 22) 金崎春彦: パルス状 GnRH 刺激の頻度依存症ゴナドトロピン遺伝子発現調節機構に関する検討. 第 58 回日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会総会および学術講演会. 山口, 2005 年 10 月
  - 23) 原田 崇, 金崎春彦, サンドラ・ムティアラ, 宮崎康二: 下垂体  $L\beta T2$  細胞における PACAP 刺激によるゴナドトロピンプロモーター活性化に関する検討. 第 58 回日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会総会および学術講演会. 山口, 2005 年 10 月
  - 24) 前出喜信, 永石美和, 山田曜子, 原田 崇, 坪倉かおり, 折出亜希, 角田育子, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二, 久守孝司: 出生後早期に診断可能であったガートナー管嚢胞の 1 症例. 第 58 回日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会総会および学術講演会. 山口, 2005 年 10 月
  - 25) 真鍋 敦, 永石美和, 山田曜子, 金崎春彦, 宮崎康二: 卵巣原発肉腫の一例. 第 58 回日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会総会および学術講演会. 山口, 2005 年 10 月
  - 26) 折出亜希, 角田育子, 原田 崇, 永石美和, 山田曜子, 前出喜信, 金崎春彦, 真鍋 敦,

- 宮崎康二：最近経験した前置胎盤の2例. 第58回日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会総会および学術講演会. 山口, 2005年10月
- 27) 真鍋 敦, 永石美和, 山田曜子, 金崎春彦, 宮崎康二：卵巣原発骨肉腫の1例. 第58回日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会総会および学術講演会. 山口, 2005年10月
- 28) 金崎春彦：著明な脈管侵襲とリンパ節移転を認めた1a1期子宮頸癌の1症例. 第43回日本癌治療学会総会. 愛知, 2005年10月
- 29) 永石美和, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二：TJ療法で長期生存可能となった4期子宮頸部腺癌の1例. 第43回日本癌治療学会総会. 愛知, 2005年10月
- 30) 宮崎康二：大学・県・民間が協力した明るい島根県の地域医療をめざして. 地域医療に関するシンポジウム 市民と考える地域医療. 島根大学医学部, 2005年11月
- 31) 紀 美和, 山上育子, 平野開士, 西村淳一, 折出亜希, 原田 崇, 前出喜信, 山田曜子, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二：TJ療法で長期生存可能となったIV期子宮頸部腺癌の一例. 第13回島根県悪性腫瘍研究会. 出雲, 2005年12月
- 32) 西村淳一, 紀 美和, 山田曜子, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二, 並河 徹：卵巣原発骨肉腫の一例. 第13回島根県悪性腫瘍研究会. 出雲, 2005年12月
- 33) 安部哲史, 山上育子, 平野開士, 西村淳一, 折出亜希, 原田 崇, 紀 美和, 前出喜信, 山田曜子, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二：胎胞膨隆で母体搬送となった2症例. 平成17年度第2回日本産科婦人科学会島根地方部会学術集会. 出雲, 2005年12月
- 34) 前出喜信, 紀 美和, 山田曜子, 原田 崇, 西村淳一, 折出亜希, 平野開士, 山上育子, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二：当院における新生児聴覚スクリーニング検査の現状. 平成17年度第2回日本産科婦人科学会島根地方部会学術集会. 出雲, 2005年12月
- 35) 真鍋 敦, 山上育子, 西村淳一, 原田 崇, 山田曜子, 金崎春彦, 宮崎康二：MDCTが術前診断に有用であったGISTの一例. 平成17年度第2回日本産科婦人科学会島根地方部会学術集会. 出雲, 2005年12月
- 36) 宮崎康二：卵巣がんについて. 市民公開講座「高齢者の病気」のお知らせ. 島根大学医学部, 2005年12月

#### 「学会発表」

- 1) 平野開士, 山上育子, 折出亜希, 西村淳一, 紀 美和, 山田曜子, 前出喜信, 真鍋 敦, 宮崎康二：当科における羊水染色体検査の現状と問題点. 第3回中国四国出生前医学研究会. 岡山, 2006年1月
- 2) 宮崎康二：事例に学ぶ「がん化学療法患者の自己決定を助ける」. 第10回腫瘍科EBM講演会. 出雲, 2006年2月
- 3) 宮崎康二：「更年期以降の女性の健康」. 日本産科婦人科学会女性の健康週間第8回島根市民公開講座「女性のための健康講座」. 江津, 2006年3月
- 4) 宮崎康二：産婦人科外来でのデプレッション診療—産婦人科領域の疼痛治療を中心に—. 第216回広島市臨床産婦人科医会. 広島, 2006年3月
- 5) 紀 美和, 金崎春彦, 山田曜子, 西村淳一, 真鍋 敦, 宮崎康二：多数のリンパ節転地を認めたIa1期子宮頸癌の1症例. 第58回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜, 2006年4月
- 5) 折出亜希, 角田育子, 西村淳一, 紀 美和, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二：TJ療法

- が著効した膣癌 1 例. 第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜, 2006 年 4 月
- 6) 山田曜子, 角田育子, 紀 美和, 前出喜信, 真鍋 敦, 宮崎康二: 心房中隔瘤を伴った IUGR の一症例. 第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜, 2006 年 4 月
- 7) 前出喜信, 紀 美和, 山田曜子, 原田 崇, 坪倉かおり, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二: 出生後早期に診断可能であったガートナー管嚢胞の 1 症例. 第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜, 2006 年 4 月
- 8) 西村淳一, 角田育子, 折出亜希, 平野開士, 原田 崇, 紀 美和, 山田曜子, 前出喜信, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二: MPA 投与により長期担癌生存している多発肺転移子宮内膜間質肉腫の 1 例. 第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜, 2006 年 4 月
- 9) 真鍋 敦, 角田育子, 西村淳一, 折出亜希, 平野開士, 原田 崇, 紀 美和, 山田曜子, 前出喜信, 金崎春彦, 宮崎康二: 卵巣原発骨肉腫の 1 例. 第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜, 2006 年 4 月
- 10) 金崎春彦, Sandra Mutiara, 原田 崇, 宮崎康二: PI3 キナーゼによるゴナドトロピン  $\alpha$  サブユニットの調節. 第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜, 2006 年 4 月
- 11) 原田 崇, 金崎春彦, Sandra Mutiara, 宮崎康二: 下垂体における PACAP によるゴナドトロピンサブユニット調節機構. 第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜, 2006 年 4 月
- 12) 原田 崇, 金崎春彦, サンドラ ムティアラ, 宮崎康二: 下垂体  $L\beta T2$  細胞における PACAP 刺激によるゴナドトロピンプロモーター活性化に関する検討. 第 79 回日本内分泌学会学術総会. 神戸, 2006 年 5 月
- 13) 金崎春彦, Sandra Mutiara, 原田 崇, 宮崎康二, Kaiser Ursula: パルス状 GnRH 刺激による ERK 活性化反応について. 第 79 回日本内分泌学会学術総会. 神戸, 2006 年 5 月
- 14) Sandra Mutiara, 金崎春彦, 原田 崇, 宮崎康二: ゴナドトロピン産生細胞における Akt/PKB の役割について. 第 79 回日本内分泌学会学術総会. 神戸, 2006 年 5 月
- 15) 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二: 寄生虫感染が疑われた肝腫瘍の一例. 第 46 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 東京, 2006 年 8 月
- 16) 折出亜希, 金崎春彦, 山上育子, 真鍋 敦, 宮崎康二: Sheehan 症候群の 1 例. 第 43 回日本生殖医学会中国四国支部学術講演会. 宇部, 2006 年 8 月
- 17) 金崎春彦, サンドラ・ムティアラ, 折出亜希, 原田 崇, 宮崎康二: ドーパミンアゴニストの下垂体ゴナドトロピン産生細胞に対する直接作用について. 第 14 回中四国 GnRH 研究会. 宇部, 2006 年 8 月
- 18) 中山健太郎: 卵巣癌治療の今後の展望. 平成 18 年度第 1 回産婦学会島根地方部会学術集会および日産婦医会島根県支部研修会. 浜田, 2006 年 9 月
- 19) 山上育子, 真鍋 敦, 石橋雅子, 佐藤敦子, 今村加代, 折出亜希, 平野開士, 原田 崇, 中山健太郎, 金崎春彦, 宮崎康二: 肥大型閉塞性心筋症合併妊娠の 1 例. 第 59 回日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会総会および学術講演会. 松山, 2006 年 10 月
- 20) 石橋雅子, 今村加代, 佐藤敦子, 山上育子, 折出亜希, 平野開士, 原田 崇, 中山健太郎, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二: 骨盤内腫瘍の長期経過中に、CA125 の急上昇を伴う Meigs 症候群を発症した 1 例. 第 59 回日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会総会および学術講演会. 松山, 2006 年 10 月
- 21) 金崎春彦, サンドラ・ムティアラ, 折出亜希, 原田 崇, 宮崎康二: P13 キナーゼによる

ゴナドトロピン $\alpha$ サブユニット制御について. 第 11 回日本生殖内分泌学会学術集会. 東京, 2006 年 11 月

22) 石橋雅子, 中山健太郎, 佐藤敦子, 今村加代, 山上育子, 折出亜希, 原田 崇, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二: MPA 療法が著効した子宮内膜間質肉腫の 2 例. 第 14 回島根県悪性腫瘍研究会. 出雲, 2006 年 12 月

23) 山上育子, 石橋雅子, 佐藤敦子, 今村加代, 折出亜希, 原田 崇, 中山健太郎, 金崎春彦, 真鍋 敦, 青木昭和, 宮崎康二: 最近経験した羊水塞栓の一症例. 平成 18 年度第 2 回日本産科婦人科学会島根地方部会学術集会および日本産婦人科医会島根県支部研修会. 出雲, 2006 年 12 月

24) 青木昭和, 石橋雅子, 佐藤敦子, 今村加代, 山上育子, 折出亜希, 原田 崇, 中山健太郎, 金崎春彦, 真鍋 敦, 宮崎康二, 川上伸兒: カラー (パワー) ドプラ法による血腫・出血点の観察. 平成 18 年度第 2 回日本産科婦人科学会島根地方部会学術集会および日本産婦人科医会島根県支部研修会. 出雲, 2006 年 12 月

25) Kanasaki H, Mutiara S, Harada T, Miyazaki K: Phosphatidylinositol-3 kinase is involved in the regulation of gonadotropin  $\alpha$  and FSH $\beta$ -subunit gene expressions. The Endocrine Society' s 88<sup>th</sup> annual meeting. Boston(USA), 2006